

2009年度第3四半期決算説明資料

2010年1月29日

川崎汽船株式会社

A. 2009年度第3四半期決算概要

- A-1 決算概要
- A-2 業績のポイント
- A-3 部門別業績動向

B. 2009年度業績予想

- B-1 通期業績予想
- B-2 事業別売上高経常利益予想
- B-3 通期業績予想のポイント
- B-4 通期部門別業績予想

A-1-1. 決算概要



(単位：億円)

	2009年度			2008年度	
	上期実績	3Q実績	9ヶ月累積	9ヶ月累積	増減額
売上高	4,005	2,125	6,130	10,536	▲ 4,406
営業利益	▲ 425	▲ 104	▲ 529	897	▲ 1,425
経常利益	▲ 499	▲ 146	▲ 645	818	▲ 1,463
当期純利益	▲ 433	▲ 187	▲ 620	407	▲ 1,027
為替レート	¥96.12	¥89.49	¥93.91	¥103.50	▲ ¥9.59
燃料油価格	\$353	\$447	\$386	\$562	▲ \$176

【前年同期比 為替変動：9.59 円高 31億円 / 燃料油価格変動：\$176安 + 243億円】

A-1-2. 決算概要 (事業別売上高・経常利益)



(単位：億円)

事業部門		2009年度			2008年度	
		上期実績	3Q実績	9ヶ月累積	9ヶ月累積	増減額
コンテナ船	売上高	1,783	906	2,690	4,491	▲ 1,802
	経常損益	▲ 471	▲ 155	▲ 626	▲ 203	▲ 423
その他海運	売上高	1,832	1,021	2,853	5,235	▲ 2,382
	経常損益	▲ 46	▲ 2	▲ 48	976	▲ 1,024
その他	売上高	390	197	587	810	▲ 223
	経常損益	19	11	29	45	▲ 16
合計	売上高	4,005	2,125	6,130	10,536	▲ 4,406
	経常損益	▲ 499	▲ 146	▲ 645	818	▲ 1,463

A-2. 業績のポイント

< 前年同期比 >

減収(4,406億円)・減益(1,463億円)

< 公表前提比 >

ほぼ見込み通り

<変動要因>

前年同期比

- ・世界同時不況による海上荷動き減少
- ・コンテナ船運賃市況下落
- ・不定期船・油槽船市況下落
- ・自動車船 積台数減少

(08F3Q累計 + 818億円 => 09F3Q累計実績 645億円)

損益変動要因	対前年同期比
為替変動	▲ 31
バンカー変動	243
市況変動	▲ 1,628
営業規模変動	▲ 414
コスト変動	485
関係会社	▲ 65
その他	▲ 53
合計	▲ 1,463

A-3-1. 部門別業績動向

- コンテナ船 -



< 前年同期比 > 減収・減益

売上高	2,690億円	1,802億円減収
経常利益	626億円	423億円減益
総積高	232.8万TEU	前年同期比 5.9%減

< 公表前提比 > ほぼ見込み通り

< 変動要因 >

前年同期比 積高、運賃率とも減少

< 概況 >

夏以降欧州・南北航路では運賃修復進展

運賃率:	前年同期比						
	1-3Q	北米	欧州	大西洋*	アジア	南北	
		往航	31%	32%	31%	21%	28%
		復航	29%	28%	19%	18%	12%

*大西洋往航=西航

A-3-2. 部門別業績動向

- ドライバルク -



< 前年同期比 > 減収・減益

< 公表前提比 > ほぼ見込通り

稼動延ト 155.2 百万ト (前年同期比 1.2%)

< 変動要因 >

市況高騰した前年同期比、平均市況は下落

< 状況 >

荷動き底固く、市況は振幅あるも堅調なレベルで推移

不定期船傭船市況(スポット)

バルク市況 (太平洋ラウンド)	09年度 9ヶ月平均	08年度 9ヶ月平均	前年同期比	2Q決算発表時 下期前提
ケープ(170型)	\$46,500	\$95,200	▲ \$48,700	\$40,000
パナマックス(74型)	\$20,500	\$39,500	▲ \$19,000	\$20,000
ハンディ(53型)	\$16,000	\$34,300	▲ \$18,300	\$15,000

A-3-3. 部門別業績動向

- 自動車船 -



< 前年同期比 > 減収・減益

< 公表前提比 > ほぼ見込み通り

輸送台数(含む欧州域内): 146.5万台 (前年同期比 43.3%)

< 変動要因 >

海上輸送荷動き大幅減少

< 概況 >

在庫調整底打ち後、荷動きは緩やかに回復傾向

A-3-4. 部門別業績動向

- エネルギー資源輸送 -



< 前年同期比 > 減収・減益

< 公表前提比 > ほぼ見込み通り

< 変動要因 >

【LNG】 スポット運航船の収支悪化

【油槽船】 中小型原油船及び石油製品船の運賃市況が低迷

< 状況 >

【LNG】 荷動きは上向きつつあるも本格回復にはまだ時間

【油槽船】 石油製品船を中心に回復傾向

・ エネルギー資源輸送稼働実績

油槽船市況 (WS)	09年度 9ヶ月平均	08年度 9ヶ月平均	前年同期比	2Q決算発表時 下期前提
VLCC (中東/日本)	WS 42	WS 130	▲ WS 88	WS 51
Aframax (南方/日本)	WS 67	WS 198	▲ WS 131	WS 68
クリ-ソ7万トﾝ型 (中東/日本)	WS 83	WS 327	▲ WS 244	WS 88

A-3-5. 部門別業績動向

- その他事業部門 -



【重量物船事業】

< 前年同期比： 減収減益 >

- ・エネルギー・インフラ関連投資が世界的に停滞
- ・中軽量級の貨物を巡り船社間の競争が激化

【物流事業】

< 前年同期比： 減収減益 >

- ・航空貨物取扱事業・海上貨物取扱事業 堅調に推移
- ・コンテナ陸送取扱事業 軟調に推移

【内航・フェリー】

< 前年同期比： 減収減益 >

- | | |
|----------|--------------------------|
| 内航不定期船部門 | 石灰石専用船は概ね順調に稼動 |
| 内航定期船部門 | 長期契約の紙専用船/一般雑貨輸送で安定輸送量確保 |
| フェリー部門 | 前年同期並みの輸送量確保 |

B. 2009年度通期業績予想

B-1. 通期業績予想

- ほぼ第2四半期公表通り
- コンテナ船構造対策費用 500億円 430億円

(単位:億円)

	2009年度				
	9ヶ月累積	4Q予想	通期予想	中間期公表	増減額
売上高	6,130	2,170	8,300	8,100	200
営業利益	▲ 529	▲ 51	▲ 580	▲ 590	10
経常利益	▲ 645	▲ 65	▲ 710	▲ 710	0
当期純利益	▲ 620	▲ 80	▲ 700	▲ 790	90
為替レート	¥93.91	¥90.70	¥93.11	¥93.06	¥0.05
燃料油価格	\$386	\$485	\$411	\$401	\$10

2008年度	
通期	増減額
12,443	▲ 4,143
716	▲ 1,296
600	▲ 1,310
324	▲ 1,024
¥100.82	▲ ¥7.71
\$504	▲ \$93

【為替変動(4Q): 1円増減 ± 1.0億円】

【燃料油価格変動(4Q): \$10/MT変動 ± 3.5億円】

B-2. 事業別売上高経常利益予想

< 公表比 >

- コンテナ船 運賃修復で収支は上向き
- 自動車船 積高伸び悩み

(単位: 億円)

事業部門		2009年度					中間期 公表	公表 増減額	2008年度	
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q見込	通期見込			通期実績	増減額
コンテナ船	売上高	862	921	906	910	3,600	3,400	200	5,301	▲ 1,701
	経常損益	▲ 200	▲ 271	▲ 155	▲ 94	▲ 720	▲ 740	20	▲ 373	▲ 347
その他海運	売上高	861	971	1,021	1,047	3,900	3,860	40	6,091	▲ 2,191
	経常損益	▲ 42	▲ 4	▲ 2	58	10	36	▲ 26	929	▲ 919
その他	売上高	196	193	197	213	800	840	▲ 40	1,052	▲ 252
	経常損益	15	3	11	▲ 29	0	▲ 6	6	44	▲ 44
合計	売上高	1,919	2,085	2,125	2,170	8,300	8,100	200	12,443	▲ 4,143
	経常損益	▲ 227	▲ 272	▲ 146	▲ 65	▲ 710	▲ 710	0	600	▲ 1,310

B-3. 通期業績予想のポイント

< 公表比 > ほぼ見込み通り

売上高 8,300億円 (増収 + 200億円) ・経常利益 710億円

前提 : 燃料油価格\$401 \$411、為替¥93 ¥93

< 前期比 >

減収 (4,143億円) ・減益 (1,310億円)

前提 : 燃料油価格\$504 \$411、為替¥101 ¥93

(08F通期 600億円、09F2Q公表 710億円 => 09F通期見込 710億円)

損益変動要因	対前年同期比	対公表比
為替変動	▲ 33	0
バンカー変動	173	▲ 11
市況変動	▲ 1,503	87
営業規模拡大	▲ 396	8
コスト増減	540	▲ 84
関係会社	▲ 33	▲ 3
その他	▲ 58	3
合計	▲ 1,310	0

B-4-1. 通期部門別業績予想



<コンテナ船>

公表比 増収・増益

前期比 減収・減益

売上高 3,600億円 (公表比 +200億円 / 前期比 1,701億円)

経常利益 720億円 (公表比 +20億円 / 前期比 347億円)

積高: 307万TEU (前期比 1.0%の減少を見込む)

概況 荷動きにあわせた運航規模の調整、アライアンス僚社との協調によるサービス合理化
スペース需給改善による欧州・南北航路の運賃修復

運賃率: 前期比
通期見込み

	北米	欧州	大西洋*	アジア	南北
往航	28%	17%	26%	15%	13%
復航	23%	19%	17%	16%	10%

*大西洋往航=西航

B-4-2. 通期部門別業績予想

<ドライバルク>

公表比 増収・増益

市況は振幅あるも、堅調なレベルで推移

前期比 減収・減益

市況乱高下した前期と比べ相対的に市況低下

不定期船傭船市況(スポット)

バルク市況 (太平洋ラウンド)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 見込	通期見込
ケープ(170型)	\$46,000	\$40,500	\$53,000	\$40,000	\$45,000
パナマックス(74型)	\$16,000	\$18,500	\$27,000	\$25,000	\$21,500
ハンディ(53型)	\$12,500	\$15,000	\$20,500	\$18,000	\$16,500

<自動車船>

公表比 売上高ほぼ見込み通り・減益

海上輸送荷動きの本格的な回復には至らず

前期比 減収・減益

販売台数が激減、在庫調整に伴い海上輸送荷動き大幅減少

B-4-3. 通期部門別業績予想

< エネルギー資源輸送 > 公表比 横這い / 前期比 減収・減益

【LNG】

短期傭船市況は厳しい状況が継続

【油槽船】

足元では短期傭船市況は回復傾向。

< 重量物船事業 > 公表比 ほぼ見込通り / 前期比 減収・減益

荷動き停滞 運賃低迷

中期経営計画見直しへ